



取扱説明書



取扱説明書・日本語

警告	3
保証	4
接続	5
スピードコントローラーとモーターの接続	5
スピードコントローラーの調整	6
調整の手順	6
プログラム変更方法	8
使用可能なセッティング項目と標準設定値	9
推奨ギア比	10
ストックレース向けの基準セッティング	10
基本的なガイドライン	11
トップスピードの向上	11
加速力の向上	11
モーター温度の低下と燃費の向上	11
特長	12
LEDの状態について	12
警告音について	12
スピードコントローラーのセッティング	13
電源スイッチに付属の設定ボタンを使った セッティング方法	13
標準的なセッティング項目	14
1. 走行モード / “ゼロタイミング” モード	14
2. ドラッグブレーキの強さ	15
3. 低電圧カットオフ	15
4. スタートモード(パンチ)	16
5. ブレーキの強さ(最大時)	16
6. 後進の速さ(最大時)	16
7. イニシャルブレーキの強さ(初期製動力)	16

8. ニュートラルレンジ	16
9. オーバーヒートプロテクション	16
標準セッティングへの復元	17
プログラムボックス	17
PC ソフトウェア	18
セッティングプロフィール	18
モデファイドとストックモーター用のファームウェア	18
高度なセッティング項目	19
10. ブースタイミング	19
11. ブーススタート回転数 (ストックファームウェアのみ)	20
12. ブースタイミングアクセレーション (ストックファームウェアのみ)	20
13. ターボタイミング	20
14. ターボスロープレート	21
15. ターボディレイ	21



警告

- ・ お子様が本製品を使用する場合は必ず保護者の監督下にて使用してください。
- ・ スピードコントローラーに電源が入った状態では絶対に放置しないでください。
- ・ スピードコントローラーは使用中に熱くなる事があります。お取り扱いには十分に注意してください。
- ・ 使用後は必ずバッテリーを取り外して下さい。バッテリーを取り付けたまま保管しないで下さい。
- ・ 燃えやすい物の近くでは使用しないでください。
- ・ もしスピードコントローラーが異常な動作をした場合、すぐにバッテリーを外して使用を中止してください。

保証

チームオリオンは本製品に製造上の欠陥がない事を保証します。
この保証は不適切な取り付け、使用に伴う損耗、又は不適切な使用方法や取り扱いで発生した問題については適用されません。
この製品の使用により発生するあらゆる損失に対する責任は負いません。この製品の接続又は使用開始によりユーザーがすべての責任を負う事を受け入れたものとします。
下記の場合は不適切な使用とみなされます。

- ・ 取扱説明書に従わない場合
- ・ 不適切な使用(手荒に扱う、仕様外の使用方法など)
- ・ 適切な動作を妨げる設定(不適切な接続方法、取り付け、ギヤ比などの間違った設定など)
- ・ 過負荷、オーバーヒート、(ハンダ、部品の溶融など)
- ・ 不適切な環境での使用(雨、湿気などによる損傷あるいは錆など)
- ・ メンテナンス不良(汚れや埃の存在など)
- ・ お客様による分解、改造(コネクター、配線、部品の改造など)
- ・ 外的要因による機械的な損傷

ティームオリオンジャパン
(京商株式会社内)

<http://www.team-orion.co.jp/>

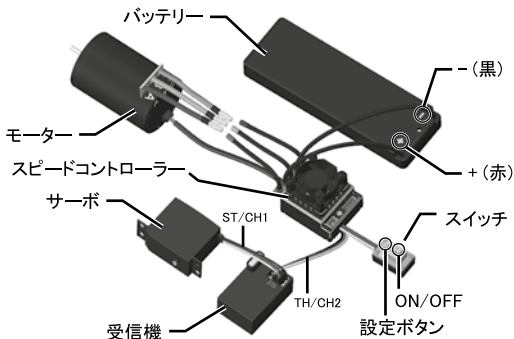
〒243-0034 神奈川県厚木市船子153

●ユーザー相談室: TEL.046-229-4115

※相談室へのお問い合わせは: 月曜～金曜(祝祭日を除く) 13:00～19:00

※製品改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

接続



スピードコントローラーとモーターの接続

センサーレスブラシレスモーター：センサーレスモーターを使用する場合は、A-B-C配線の順序は重要ではありません。モーターの回転方向が逆の場合はいずれか2本の配線を入れ替えて下さい。

センサー付ブラシレスモーター：センサー付モーターを使用する場合、モーターとスピードコントローラーをセンサーケーブルで接続して下さい。 **⚠ 警告** センサー付モーターを使用する場合は、モーターをスピードコントローラーに接続する際に、配線のA-B-Cを順序通りに接続しなければなりません。配線を不適切に接続してはいけません。

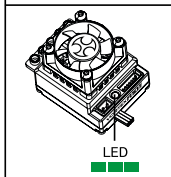
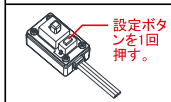
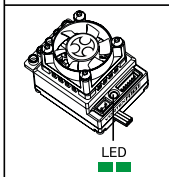
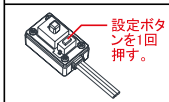
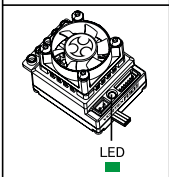
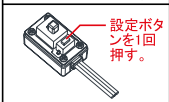
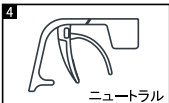
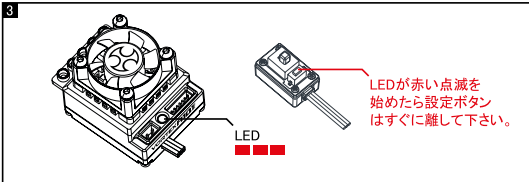
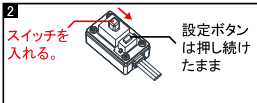
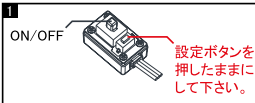
ノート：モーターの回転方向をソフトウェアで変更することはできません。

スピードコントローラーの調整

正常な動作をさせる為にスピードコントローラーを使用する送信機用に調整しなければなりません。
調整前にトリムをセンターに調整し送信機のセッティングをリセットする事をお勧めします。

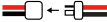
調整の手順

- A. スピードコントローラーのスイッチが切られている事を確認し、送信機のスイッチを入れて下さい。
- B. スイッチ上の設定ボタンを押しながらスイッチを入れ、LEDが赤く点滅し始めたらすぐに設定ボタンを離します。
- C. 送信機のスロットルをニュートラル、ハイポイント、ブレーキ/バックポイントの順に操作し、1つの操作ごとに設定ボタンを押して設定します。設定ボタンを押した際にLEDは下記のように点滅します。
 - 1. ニュートラルポイント(1回点滅)
 - 2. ハイポイント(2回点滅)
 - 3. ブレーキ/バックポイント(3回点滅)
- D. 最後の調整が完了した3秒後に走行可能になります。



プログラム変更方法

1



バッテリーを接続する。



スイッチを入れる。

2

プログラム変更モードへ入る。



設定ボタンを1秒間押す。



LEDが点滅

又は

プログラムをリセットする。



5秒間設定ボタンを押してください。

3

変更したい項目を選んで下さい。



設定ボタンを1回押すと1番目の項目が選ばれます。

LEDが1回点滅

3

続けてもう1回(計2回)設定ボタンを押すと2番目の項目が選ばれます。



LEDが2回点滅

※続けて設定ボタンを押す事で次の項目へ移り、最後の項目まで進むと項目1へ戻ります。

4

選択した設定項目のセッティングを変更するには、設定ボタンを3秒間押す。



5

設定項目のセッティングは設定ボタンを押す度に次を選択します。



1を選択中

LEDが1回点滅する。

2を選択中

LEDが2回点滅する。

6

新しいセッティングを保存するには設定ボタンを3秒間押します。



7

プログラムの変更を終了するにはスイッチを切ります。



使用可能なセッティング項目と標準設定値

セッティング項目 (緑色のLEDで 示されます。■)		セッティング内容 (赤色のLEDで示されます。■)																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9									
スイッチの設定ボタンで変更可能な項目																			
1	走行モード “ゼロタイミング” モード	前進/ ブレーキ	前進/後進 ブレーキ	前進/後進 (クローラー 向け)	ゼロ タイミング 前進/ ブレーキ	ゼロ タイミング 前進/後進 ブレーキ	ゼロ タイミング 前進/後進 (クローラー 向け)												
2	ドラッグブレーキ の強さ	0%	5%	10%	15%	20%	25%	30%	100%	カスタム 1% 単位									
3	低電圧カットオフ	オフ	2.6V/セル	2.8V/ セル	3.0V/ セル	3.2V/セル	3.4V/セル	カスタム 0.1V単位											
4	スタートモード (パッチ)	レベル1	レベル2	レベル3	レベル 4	レベル 5	レベル 6	レベル 7	レベル 8	レベル 9									
5	ブレーキの強さ (最大時)	12.50%	25%	37.50%	50%	62.50%	75%	87.50%	100%										
6	後進の速さ (最大時)	25%	50%	75%	100%														
7	イニシャル ブレーキの強さ (初期制動力)	ドラッグ ブレーキ と同じ	0%	20%	40%														
8	ニュートラル レンジ	6% (ナロー)	9% (ノーマル)	12% (ワイド)															
9	オーバーヒート プロテクション	オン	オフ																
高度なセッティング項目 (プログラムボックスを使用する事で変更可能)																			
		モデファイド ファームウェア (標準の状態)					ストック ファームウェア (ファームウェアの書き換えが必要)												
10	ブーストタイミング	0° ~ 16° (1° 単位) ※標準は 0°					0° ~ 64° (1° 単位) ※標準は 33°												
11	ブーストスタート 回転数	使用できません。					1000RPM ~ 15000RPM (1000RPM 単位) ※標準は 4000PRM												
12	ブーストタイミング アクセルセレーション	使用できません。					50RPM/deg ~ 750RPM/deg in 50RPM steps. ※標準は 350RPM/deg												
13	ターボタイミング	0° ~ 20° (1° 単位) ※標準は 10°					0° ~ 40° (1° 単位) ※標準は 12°												
14	ターボスローブ レート (/0.1s)	3°	6°	12°	18°	24°	最速	3°	6°	12°	18°	24°	最速						
15	ターボディレイ	オフ	0.1s	0.2s	0.3s	0.4s	0.5s	0.6s	0.7s	0.8s	オフ	0.1s	0.2s	0.3s	0.4s	0.5s	0.6s	0.7s	0.8s

推奨ギヤ比

モーター	KV値	最終減速比 1/10 ツーリング	最終減速比 1/10 オフロード	スピードコントローラー	
				ORI65102	ORI65128
3.5T	9100	9.0 - 11.0	-	●	●
4.5T	7300	8.4 - 10.0	-	●	●
5.5T	6000	8.0 - 9.4	9.5 - 11.0	●	●
6.5T	5200	7.4 - 8.4	9.0 - 11.0	●	●
8.5T	4000	6.0 - 7.0	8.0 - 9.6	●	●
10.5T	3300	5.0 - 6.0	7.0 - 8.5	●	●
11.5T	3000	4.5 - 5.5	6.5 - 8.0	●	●
13.5T	2500	4.0 - 5.0	6.5 - 7.5	●	●
17.5T	1900	3.8 - 4.5	5.5 - 7.0	●	●
21.5T	1600	3.5 - 4.0	5.0 - 5.5	●	●

ストックレース向けの基準セッティング

車種	モーター	最終減速比	10. ブースト タイミング	11. ブースト スタート 回転数	12. ブースト タイミング アクセルセリション	13. ターボ タイミング	14. ターボ スローブ レート	15. ターボ ディレイ
1/10 オンロード	11.5T	6.0-7.0	34° -42°	4000	300-450	16° -26°	18° /0.1s	0.4s
	13.5T	5.0-7.0	34° -54°	3000	200-300	20° -30°	18° /0.1s	0.4s
	17.5T	5.0-7.0	34° -55°	3000	150-300	20° -30°	18° /0.1s	0.2s
1/10 オフロード	11.5T	7.5-9.5	12°	6000	400-500	4°	6° /0.1s	オフ
	13.5T	7.0-9.0	16°	5000	200-350	8°	6° /0.1s	オフ
	17.5T	7.0-8.5	20°	3000	200-350	12°	6° /0.1s	オフ



セッティングは使用状況により異なりますので、無理の無い範囲において自己責任で行ってください。

基本的なガイドライン

トップスピードの向上

1. タイミングを増やす。
2. 最終減速比を低くする。
3. 加速力や速度が不足するのは直線が短すぎモーターが最高回転数に達する時間が無い可能性があります。

加速力の向上

1. タイミングを増やす。
2. 「ブーストスタート回転数」と「ブーストタイミングアクセレーション」の設定値を低くする。
3. 最終減速比を高くする。
4. 「ターボディレイ」を短くする。
5. 「ターボスロープレート」を大きくする。
6. 「スタートモード(パンチ)のレベルを上げる。

モーター温度の低下と燃費の向上

1. タイミングを減らす。
2. 最終減速比を高くする。
3. 「ブーストスタート回転数」と「ブーストタイミングアクセレーション」の設定値を高くする。
4. 「ターボディレイ」を長くする。
5. 「ターボスロープレート」を小さくする。

チームオリオン ブラシレススピードコントローラーをお買い上げ頂き有難うございます。本製品は最新のブラシレスシステムを使用しております。世界選手権で優勝したチームオリオン開発チームは、このブラシレススピードコントローラーの開発に多くの時間を費やしました。この優れた性能をご体験下さい。ブラシレススピードコントローラーをご使用の前に、この取扱説明書をよくお読み下さい。

特長

- ・ 2セルLiPoのオンロード及びオフロードカーに対応
- ・ ノーマルモードとゼロタイミングモードを搭載
- ・ ストックモーター用のファームウェアが利用可能
- ・ センサーコネクタを2箇所に装備
- ・ 新デザインのヒートシンクと本体ケース
- ・ 最先端のタイミング調整機能を備えたソフトウェア
- ・ 設定ボタン又はオプションのデジタルプログラムボックスを使用した簡単なセットアップ

LEDの状態について

- ・ ニュートラル状態ではLEDは点灯しません。
- ・ 前進/後進/ブレーキの状態の時に赤いLEDが点灯します。

警告音について

1. 入力電圧のトラブル: スピードコントローラーの電源が入った際に入力電圧を確認します。問題が検出された場合はスピードコントローラーから2回連続したビーブ音が2秒間隔で鳴ります。(xx-xx-xx)
2. 受信機からの信号の問題: スピードコントローラーの電源が入った際に入力信号を確認します。問題が検出された場合はスピードコントローラーからビーブ2秒間隔で鳴ります。(x-x-x)

スピードコントローラーのセッティング

スピードコントローラーやスイッチにある設定ボタン又はオプションのデジタルプログラムボックスを使って使用カテゴリーやサーキットに対応させたセッティング変更が可能です。ご購入されたスピードコントローラーの機種によってセッティング可能な項目は異なります。緑色のLEDの点滅はセッティング項目を示します。赤色のLEDの点滅はセッティング内容を示しています。設定ボタンを使って各項目のセッティングを行う場合は下記の順序に従ってください。

より高度なセッティング項目を変更する場合はオプションのデジタルプログラムボックスが必要です。

電源スイッチに付属の設定ボタンを使ったセッティング方法

- A. スピードコントローラーのスイッチを入れる。
- B. 緑のLEDが点滅するまで設定ボタンを1秒間押し、点滅したら設定ボタンを離します。(設定ボタンを5秒間押し続けるとスピードコントローラーの設定は工場出荷状態に戻ります。)
- C. 設定ボタンをもう一度押す。
- D. 緑色のLEDは現在選択されているセッティング項目を示し繰り返し点滅します。点滅1回は項目1、点滅2回は項目2を示します。セッティングする項目になるまで設定ボタンを押してください。
- E. セッティングを行う項目を選択したら設定ボタンを押し続け赤色のLEDが点灯したら設定ボタンを離します。
- F. 赤色のLEDは現在のセッティング内容を示します。点滅1回はセッティング内容の「1」を示し、点滅2回は「2」です。セッティング内容の項目を変更するには設定ボタンを押します。

G. 選択が終了したら設定ボタンを3秒間押して設定を保存します。

H. スピードコントローラーの電源を切って再度入れると変更したセッティングが有効になります。

ノート: 変更は一度に一項目までしか出来ません。各項目の変更後はスピードコントローラーの電源を切り変更を記憶させた後に、次のセッティングを行ってください。

標準的なセッティング項目

標準的なセッティング項目は電源スイッチに付属の設定ボタンで変更する事が可能です。

1. 走行モード / “ゼロタイミング” モード

1. “前進/ブレーキ” このモードはレースに適しています。

前進とブレーキのみで後進はしません。

2. “前進/後進 ブレーキ” このモードは前進と後進が可能で更にブレーキも備えているのでオールラウンドに使えます。車体が前進している時にスロットルを後進側に動かすとブレーキが掛かります。後進を行うにはブレーキを掛けて車体を停止させ、ブレーキを放し再びスロットルを後進側に動かします。ブレーキ又は後進をしているときにスロットルを前進の位置に動かすと車体はすぐに前進します。

3. “前進/後進” このモードはロックローラーに適しています。このモードではブレーキはありません。車体が止まらずにすぐに前進から後進へ切り替わります。このモードは負荷が高いのでスピードコントローラーが損傷しやすくなります。ロックローラー以外には使用しないでください。

走行モードの4-5-6は1-2-3と同じ機能を持っていますが、ソフトウェアの全てのタイミング機能は無効になります。

スピードコントローラーの走行モードを4-5-6に設定する事は“ゼロタイミング” モードで走行している事になります。

2. ドラッグブレーキの強さ

スロットルをニュートラル位置に戻した時に掛かるブレーキの強さを設定します。これは実車のエンジンブレーキのような効果で、車のコントロールフィールが良くなります。

3. 低電圧カットオフ

この機能はバッテリーの過放電を防ぐ働きをします。スピードコントローラーが常にバッテリー電圧を検出しバッテリー電圧が2秒間設定よりも低くなると出力を遮断し赤いLEDが2回連続した点滅を繰り返します。カットオフ電圧はLiPoの個々のセル電圧として計算されます。ニッケル水素バッテリーの場合は電圧が9Vより低いと2セルLiPoバッテリーとみなされ、電圧が9Vより高いと3セルLiPoバッテリーとみなされます。例えば、8.0Vのニッケル水素バッテリーは各セル当たりのカットオフ電圧を2.6Vに設定すると、2セルLiPoにみなされ低電圧のカットオフは5.2V ($2.6V \times 2 = 5.2V$)になります。オプションのデジタルプログラムボックスを使用するとカットオフ電圧を任意に調整できます。この場合はプリセット値と違い設定した電圧は個々のセルの電圧では無くバッテリー全体の電圧になります。

4. スタートモード（パンチ）

この項目は車体が加速する際の初期のスロットルパンチ力を設定します。「レベル1」は加速がスムーズで、「レベル9」では加速が良くなります。「レベル7～9」を選ぶ場合は放電力の高いバッテリーが必要になります。

5. ブレーキの強さ（最大時）

この項目は最大ブレーキ力を調整します。値が高いほどブレーキ力は強くなりますが、スピードコントローラーやモーターに余分なストレスを掛けます。

6. 後進の速さ（最大時）

この項目は後進時の最大出力を調整します。

7. イニシャルブレーキの強さ（初期製動力）

この項目はブレーキの初期の強さを調整します。ドラッグブレーキが有効な場合、出荷時の設定はドラッグブレーキと同じになります。

8. ニュートラルレンジ

この項目はニュートラル位置のスロットル感度を調整します。設定値が高い程、スロットルを多く移動しないと車体は動き出しません。

9. オーバーヒートプロテクション

この項目はオーバーヒート保護機能をオンかオフにします。スピードコントローラー又はモーター内部の温度が5秒間、工場出荷時の設定を超えた場合に出力をカットします。この機能が働いた場合、緑色のLEDが点滅します。

スピードコントローラーのオーバーヒート: 緑色のLEDが1回点滅
(x-x-x)

モーターのオーバーヒート: 緑色のLEDが2回点滅(xx-xx-xx)

**モーターのオーバーヒート保護機能は全てのメーカーの
モーターで動作を保証する物ではありません。**

標準セッティングへの復元

スロットルをニュートラル位置にし、設定ボタンを5秒間押す事で
スピードコントローラーが工場出荷時の設定にリセットされ、同時
に赤色と緑色のLEDが点滅します。

プログラムボックス

オプションのデジタルプログラムボックスでは、スピードコントロー
ラーの全ての項目を変更し、スピードコントローラーのファームウェア
を更新する事ができます。(PCソフトウェアが必要)

- ・ プログラムボックスは最先端のタイミング変更を含むスピード
コントローラーのセッティングを変更します。
- ・ プログラムボックスはPCソフトウェアと合わせてスピードコント
ローラーに使えます。
- ・ プログラムボックスのファームウェアはスピードコントローラーと
は独立しています。プログラムボックスとスピードコントローラー
を正常に動作させる為に、PCソフトウェアを使い両方のファーム
ウェアを更新する必要があるかもしれません。

PC ソフトウェア

PC ソフトウェアは主にスピードコントローラー及びプログラムボックスのファームウェアを変更/更新する為に使用します。

スピードコントローラーに「ストック」ファームウェアをインストールする場合はオプションのプログラムボックスを使用し、パソコンとスピードコントローラーを接続する必要があります。

- ・ PC ソフトウェアはTeam ORIONのウェブサイトから無料でダウンロードできます。(www.teamorion.com/R10-downloads.html)
- ・ プログラムボックスを使用するにはパソコンとスピードコントローラーを接続する必要があります。
- ・ PC ソフトウェアを使用するとスピードコントローラーとプログラムボックスのファームウェアを更新する事ができます。
- ・ PC ソフトウェアを使用するとスピードコントローラーの全ての設定を変更する事ができます。(プログラムボックスと同じ)
- ・ PC ソフトウェアは現時点ではウインドウズのインストールされたパソコンで使用可能です。

セッティングプロフィール

スピードコントローラーには3種類の設定を記憶する事が可能で、この機能を使用すると異なるセッティングを容易に使い分ける事ができます。この機能を使用するにはオプションのプログラムボックスが必要です。

モデファイドとストックモーター用のファームウェア

R10PRO ESCでは2種類のファームウェアがあります。初期状態では「モデファイド」ファームウェアがインストールされています。「ストック」ファームウェアはPCソフトウェアを使用する事でインストールできます。「ストック」ファームウェアはストックモーター用に最適なタイミング設定が行えます。

スピードコントローラーにはファームウェアを1つだけインストールする事ができます。そしてファームウェアはオプションのプログラムボックスとPCソフトウェアを使用し何度も書き換える事ができます。

オプションのプログラムボックスとPCソフトウェアはスピードコントローラーのファームウェアの更新に必要です。

オプションのプログラムはスピードコントローラーの高度なセッティング項目の変更を行うのに必要です。

スピードコントローラーのファームウェアはPCソフトウェアに含まれております。 最新のファームウェアは必要に応じてTeam ORIONのホームページより提供されます。

(www.teamorion.com/R10-downloads.html)

“ストック”ファームウェアはストックモーターのパフォーマンスを最大限に活用できるように特別に開発されました。

この“ストック”ファームウェアはセンサー付のモデファイドモーターで使用する事も可能ですが、間違ったセッティングで使用するスピードコントローラーやモーターを破損させます。

各セッティング項目は常に低い設定値で開始し、スピードコントローラーとモーターがパフォーマンスの向上に耐える事を確認した後で徐々に設定値を増やします。

高度なセッティング項目

スピードコントローラーに“モデファイド”又は“ストック”ファームウェアのどちらがインストールされているかによって、使用できるセッティング項目の数が異なります。“ストック”ではより多くの項目があります。

10. ブーストタイミング

この機能はモーター本体の進角調整に似ています。(モーターの回転数に連動し機能は適用されます。)

“ストック”ファームウェアを使用した場合は、標準の”モデファイド”ファームウェアを使用した時よりも、より高い値が設定可能です。

＞ 調整範囲

“モデファイド”の場合 : $0^{\circ} \sim 16^{\circ}$ (1° 単位で調整可能)

“ストック”の場合 : $0^{\circ} \sim 64^{\circ}$ (1° 単位で調整可能)

11. ブーストスタート回転数 (ストックのみ)

この機能は”10 ブーストタイミング”が働き出すモーターの回転数を設定します。設定した回転数に達した時にブースト機能が働きます。例えば5000RPMに設定した場合、0～5000RPMまでのブーストタイミングは 0° で、5000RPM以上になると”12 ブーストタイミングアクセレーション”の設定に関連し機能が働きます。低い回転数に設定するほどパフォーマンスは向上します。

＞ 調整範囲

1000 ～ 15000RPM (1000RPM単位で調整可能)

12. ブーストタイミングアクセレーション (ストックのみ)

この機能は”10 ブーストタイミング”の効果の増加量を調整します。ブーストタイミングが 1° の場合は全ての設定値が反映されます。例えば、”12 ブーストタイミングアクセレーション”の値を500RPM/degに設定し、”10 ブーストタイミング”を 20° 、”11 ブーストスタート回転数”を5000RPMに設定した場合、モーターの回転数は15000RPM ($20^{\circ} \times 500\text{RPM} + 5000\text{RPM}$)に達しなければならないと言う事を意味します。”12 ブーストタイミングアクセレーション”の値をより高い値に設定すると早く加速しますが、発熱も多くなります。

＞ 調整範囲

50 ～ 750RPM (350RPM/deg単位で調整可能)

13. ターボタイミング

この機能は第2のブーストタイミングで、フルスロットル時に”10 ブーストタイミング”に更に加えられる進角の量を設定します。

ストックファームウェアでは”13 ターボタイミング”を効かせる前に”10 ブーストタイミング”の効果が出るように調整してください。モデファイドファームウェアでは”13 ターボタイミング”の効果が出る前に”10 ブーストタイミング”が全体的に適用されます。この機能は直線部分での最高速アップに効果的です。

＞ 調整範囲

“モデファイド”の場合 : $0^{\circ} \sim 20^{\circ}$ (1° 単位で調整可能)
“ストック”の場合 : $0^{\circ} \sim 40^{\circ}$ (1° 単位で調整可能)

14. ターボスロープレート

この機能ではフルスロットル時に”13 ターボタイミング”で設定されたタイミングまでの上がり方を調整します。

設定が $6^{\circ} / 0.1s$ で”13 ターボタイミング”が 24° の場合は完全にターボタイミングが効くまでに0.4秒 ($6^{\circ} \times 0.4s = 24^{\circ}$) 以上フルスロットルにする必要があります。高い値設定すると加速力に加え、発熱も増加いたします。

＞ 調整範囲

$3^{\circ} / 0.1s \sim$ 最速まで

15. ターボディレイ

この機能はフルスロットルにしてから”13 ターボタイミング”が働くまでの時間を調整します。

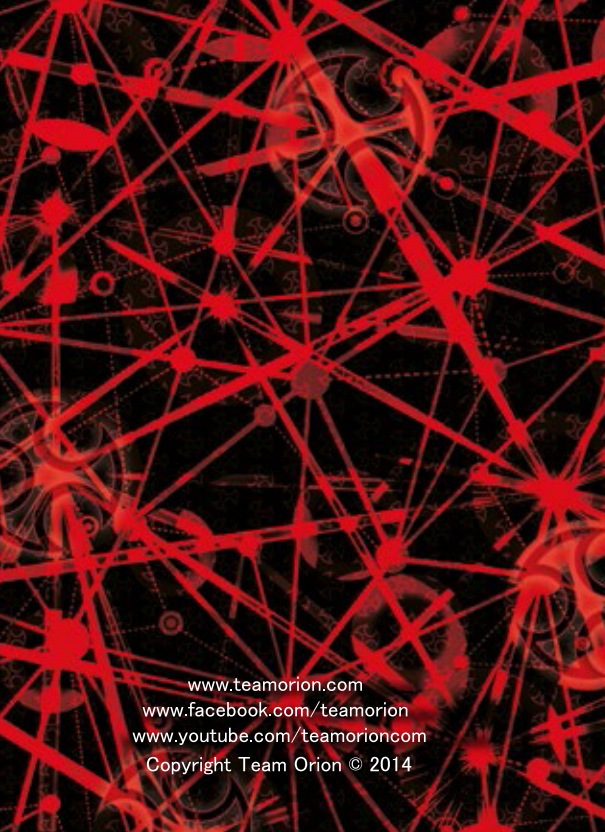
＞ 調整範囲

0 $\sim$ 0.8 秒 (0.1秒単位で調整)

ノート: タイミングの合計は最大で 64° までです。(ブースト + ターボ) 設定したタイミングの合計が 64° より多くても 64° までしか適用されません。例えば、”10 ブーストタイミング”が 64° で、”13 ターボタイミング”が 20° ならば”10 ブーストタイミング”だけが有効です。(”13 ターボセッティング”の設定を 0° に設定した場合と同じです。)

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

The background is a dense, abstract composition of red and black. It features a complex network of thin, intersecting red lines that form a web-like structure. Scattered throughout are various geometric shapes, including circles, squares, and triangles, some of which are solid red and others are hollow. There are also larger, more complex shapes that resemble stylized flowers or starbursts. The overall effect is one of dynamic energy and interconnectedness.

www.teamorion.com
www.facebook.com/teamorion
www.youtube.com/teamorioncom
Copyright Team Orion © 2014